

報道関係者の皆様

醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会
会長 村井信夫

醍醐コミュニティバスの最近の利用者動向等についてのお知らせ

平素より「醍醐地域にコミュニティバス」へのご理解やご協力に対しまして、お礼申し上げます。

醍醐コミュニティバスは、地域の皆様のご協力・ご支援をいただきまして、現在も順調に運行を継続しております。バス運行開始後、平成 17 年 10 月末現在で、早くも約 1 年 8 ヶ月(624 日)を迎えるに至っております。そこで、最近の醍醐コミュニティバスの運行状況、地域住民による利用促進活動等の状況につきましてお知らせいたします。

■バス利便性の向上策について（土日祝日ダイヤの変更）

●これまで土日祝日ダイヤを、おおむね 2 時間に 1 本の運行（4 号路線のみ 10 分間隔で運行）としておりましたが、ご利用の皆様から「土日祝日ダイヤを平日並に増便を」と希望する声を多くお寄せいただきましたので、平成 17 年 9 月 3 日より、ご利用の皆様の声にお応えする形で土日祝日ダイヤ変更することとし、1 号路線、2 号路線でおおむね 1 時間に 1 本の運行を確保。3 号路線で最終便(19 時台)を 1 便増加。4 号路線は春・秋の行楽期を除いて 20 分間隔で運行することとしました。なお、4 号路線は春の桜の時期（3 月末～4 月初旬）、秋の紅葉の時期（11 月）には、今後も多くのご利用が見込まれるため、この時期には臨時便を増発して、従来通り 10 分間隔の運行を行うこととしております。

■バスの運行状況について

●運行開始から平成 17 年 10 月末日（日）で、約 1 年 8 ヶ月を迎えましたが、これまで、運休はありません。（運行率 100%）

●定時性はおおむね良好で、ほとんどの便は 2～3 分以内の遅れで運行しています。

●運行開始後から平成 17 年 10 月末日までの 624 日間の累計のご利用者は、約 42 万 6 千人となっています。また、1 日当たりの平均利用者数も 682 人と、当初の目標としておりました 1 日 500 人を大幅に上回っています。

●醍醐コミュニティバスのご利用状況の推移をみるために、昨年度前半（H16 年 4 月 1 日～平成 16 年 10 月 31 日の 214 日間）と今年度同期（H17 年 4 月 1 日～平成 17 年 10 月 31 日）を比較しますと、昨年度前半のご利用者数約 145,629 人に対して、今年度同期のご利用者数は約 168,558 人と、約 16%の伸びとなっています。

●醍醐コミュニティバスは、全体として 2 年目に入って、地域への浸透がますます進んできていると思われます。住民の方から土日祝日ダイヤの増便要望が出てきたのも地域への浸透を示

すものと思われます。

■地域住民の参加による利用促進活動について

●現在、秋の観光シーズン本番を迎えています。市民の会では、これまで地域の方々に醍醐コミュニティバスを利用していただけよう、バス運行情報の提供、各種イベントでのバス利用のお願い、利用促進のチラシ等の配布を積極的に行って参りました。この秋の紅葉シーズンの土日祝日には、地域住民の参加により「地下鉄醍醐駅」でバスご利用者の方への案内・誘導活動を展開しているところです。

●今後とも、地域の皆様や観光客の方々に醍醐コミュニティバスをさらにご利用いただくため、一層の利用促進活動に取り組んでいく所存ですので、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご質問お問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

醍醐コミュニティバス市民の会
事務局 電話 / F A X 075-575-2616